

## 裏方のからくりにはビックリ!

義経バックステージツアー

劇団わらび座ミュージカル「義経～平泉の夢」公演は9月19日、アンバーホールで開催され、約400人の観客が歌と演技に拍手を送りました。公演終了後、裏



方を見せるバックステージ

スタッフから丁寧な説明を受けました

ツアーには約40人が参加。出演者や舞台監督などから、からくりの説明が行われました。人をなぐる演技に合わせて音を出す裏方作業を体験した吉田昂平君（久慈小3年）は「公演が面白かったし、裏方作業を体験できて良かった」と声を弾ませていました。

## 地元の公園きれいに

川貫老人クラブで公園を草刈り

川貫老人クラブ（外館新太郎会長）では9月20日、約15人が参加して、今年の3月に大成橋脇に完成した



結いこパーク敷地内の草刈りを行いました。全国老

手分けして草を刈りました

人クラブ連合会により提唱

されている「社会奉仕の日」（同日）に合わせて同クラブが初めて企画したもので、川貫保育園の園庭の草刈りも行いました。外館会長は「せっかく地域にできた公園。市街地への玄関口でもあるので、きれいにしたい」と額の汗をぬぐっていました。

## 火遊びはしません!

幼年消防の集いを開催

幼稚園や保育園の園児で構成する幼年消防クラブによる、幼年消防の集いが10月17日、アンバーホールで行われました。久慈管内から15団体が参加。園児たち



が「火遊びはしません」

「火の用心」を元気に呼び掛ける園児たち

「素直な子どもになります」などと、かわいらしい声で宣言しました。買い物客でにぎわう久慈ショッピングセンターでは防火パレードと餅まきが行われ、園児たちは拍子木を叩きながら元気いっぱい「火の用心！マッチ1本火事の元！」と呼び掛けていました。



◀大迫力の闘牛大会。骨と肉がぶつかり、開場からどよめきが起こります  
▼5店が出店した「まめぶ」は、地域の個性が良く出た逸品ばかり。どれがおいしいかな？



## 山形ぐれっと味わって

ぐれっと!やまがた街道祭を初開催

秋の山形のイベントとして今年初めて開催された「ぐれっと!やまがた街道祭」(同実行委主催)が10月13-14日、町内16会場で開催されました。町内で活動する自治会や民間企業など14団体が、そば打ちや炭焼き体験、パークゴルフなどを一挙に開催。たくさんの人が町内を、その名の通りぐれっと(ぐるりと)回り、山形の秋を楽しみました。

メインは、平庭地区で開かれた闘牛大会もみじ場所(14日のみ)と平庭市。訪れた人たちは、鼻息荒くぶつかり合う闘牛に拍手と歓声を送り、豆腐田楽や短角牛の串焼きなどを味わいました。平庭市で行われた「まめぶ味比べコンテスト」では、町内から5つの店が出店。全地区のまめぶを味わった市内の女性は「こんなに味付けに違いがあるとびっくり」と目を丸くしていました。

## 小国っ子が短角学ぶ

小国小学校がエリート牧場を見学



牛さんって大きいね～

小国小学校(吉田幸子校長)の全校児童5人が9月27日、エリート牧場で短角牛についての学習を行いました。講師は、いわてくじ農協短角牛肥育部会(下館進部会長)顧問の杉下豊治さん(山形町)。

短角牛の産地でも、意外に触れる機会は少ないもの。児童たちは、恐る恐る牛にさわるなどして、その大きさを実感しました。児童たちは「牛の耳に付いている番号はなに」「なんでエリート牧場っていうの」などと盛んに質問。畑中智香さん(4年)は、「最初は怖かったけど、さわったらフワフワしてかわかった。牧場の中にオスが1頭しかいないことにびっくりしました」と、短角牛への理解を深めた様子でした。

## 福祉の村で交流

ふれあい福祉まつりを開催

ふれあい福祉まつり(同実行委主催)が10月8日、福祉の村で開催されました。この日は、あいにくの雨模様でしたが、家族連れなどたくさんの人たちが会場を訪れました。

市内の福祉施設やボランティア団体などによる出店やゲームのほか、フリーマーケット、救急医療や手話の体験などが行われました。普段は「しあわせSUN」(二十八日町)で活動している「こはくのまちの保健室」による出張保健相談も人気を集めました。

家族で訪れた中村春太君(天神堂)は「輪投げのゲームが上手にできておもしろかった。もっとたくさん遊びたい」と笑顔を広げていました。



福祉団体の作品もズラリと並びました

## 私の久慈市その将来

小久慈小で市長を招いて授業



山内市長に質問や意見をぶつける児童たち

小久慈小学校(山田幸朗校長、児童306人)の6年生53人が10月12日、山内隆文市長を招いて授業を行いました。「私の久慈市その将来」と題して行われたこの授業では、児童が6班に分かれて久慈秋祭りや魚市場、琥珀などについて学習。「いろいろな人が、「人のために」という思いで働いている」「努力して心から泣けるように取り組みたい」などと成果を発表しました。山内市長は「どうして市長になったか」「どんな仕事をしているか」などを説明した後、「子どもにも大人にもできることがある。今回、学習したことだけでなく、やりたいと思ったことは、失敗を恐れずなんでも経験してほしい」とエールを送りました。